

減らなかつた「沖縄の負担」 嘉手納基地 F 15 戦闘機の訓練移転

「騒音激化、最悪レベル／訓練移転効果なし」

在日米軍再編に伴う、米軍嘉手納基地所属のF 15 戦闘機の本土移転訓練期間中の六日、北谷町が砂辺地区に設置した騒音測定器が三月としては最高、今年に入って二番目となる一五・六デシベル(二メートル前方の自動車の警笛に相当)を記録したことが九日、分かった。沖縄の負担軽減をうたった初めての訓練移転は、騒音面で裏腹な結果となり、野国昌春町長は「移転前に危惧した通りだ」と憤った。

(沖縄タイムス3月10日朝刊)

受け入れ先の反応は

『基地周辺の住民は「米軍の騒音は自衛隊よりも大きかった。もう来てほしくない」と話した』という記事が、西日本新聞3月8日夕刊に掲載されました。訓練移転期間中、地域の人々は反対運動を続けていました。

今回の訓練で防衛施設庁と周辺自治体は、①訓練は航空自衛隊と米軍が共同で実施、②1回あたり約1~15日間、年間56日以内、③国は騒音調査を実施、④事件・事故・緊急時使用の場合は速やかに通知・説明、⑤地域振興に最大限配慮——という協定を作成しました。

しかし協定には、夜間飛行訓練の禁止や、部隊を常駐化しないことの明記など、地元自治体が求めていた項目ははいりませんでした。一方で、展開と撤収に要する期間は訓練期間に含まれない、これまでにあった「米軍の訓練は年4回」という制限を撤廃するなど、米軍にとって都合のいい条件になっています。

●訓練の移転先は？

千歳基地（北海道）、三沢基地（青森県）、小松基地（石川県）、百里基地（茨城県）、新田原基地（宮崎県）、築城基地（福岡県）

●訓練の実施回数は？

タイプ1訓練 1~5機 1~7日 年12回
タイプ2訓練 6~12機 8~14日 年3回

●費用の負担は？

「沖縄の負担軽減」が目的のため、費用の75%を日本が負担。07年度の予算は、約3億7000万円

騒音削減で合意したのに…

日米両国政府は在日米軍再編協議の中で、嘉手納基地に所属するF 15 戦闘機の訓練の一部を、全国6ヶ所の航空自衛隊基地に移転することで合意しました。F 15 戦闘機の爆音が大きく、住民の生活の妨げとなっていたことから、「沖縄の負担軽減」のために決められたのです。

ところが上記の記事の通り、嘉手納基地の騒音削減を目的とした訓練移転の最中の騒音が、「最悪レベル」となってしまったのです。

なぜ減らない？嘉手納基地の爆音

嘉手納基地には今年2月、最新鋭ステルス戦闘機F 22・12機が新たに配備されました。同機の騒音は、F 15 戦闘機と同じレベルです。また嘉手納基地では、基地所属機だけではなく、沖縄海兵隊のAV 8B 戦闘機や、岩国基地のFA 18 戦闘機、厚木基地の空母艦載機などが日常的に訓練を行っています。韓国やハワイ、米本土に所属する戦闘機や輸送機も、訓練や補給で嘉手納基地にやってきます。

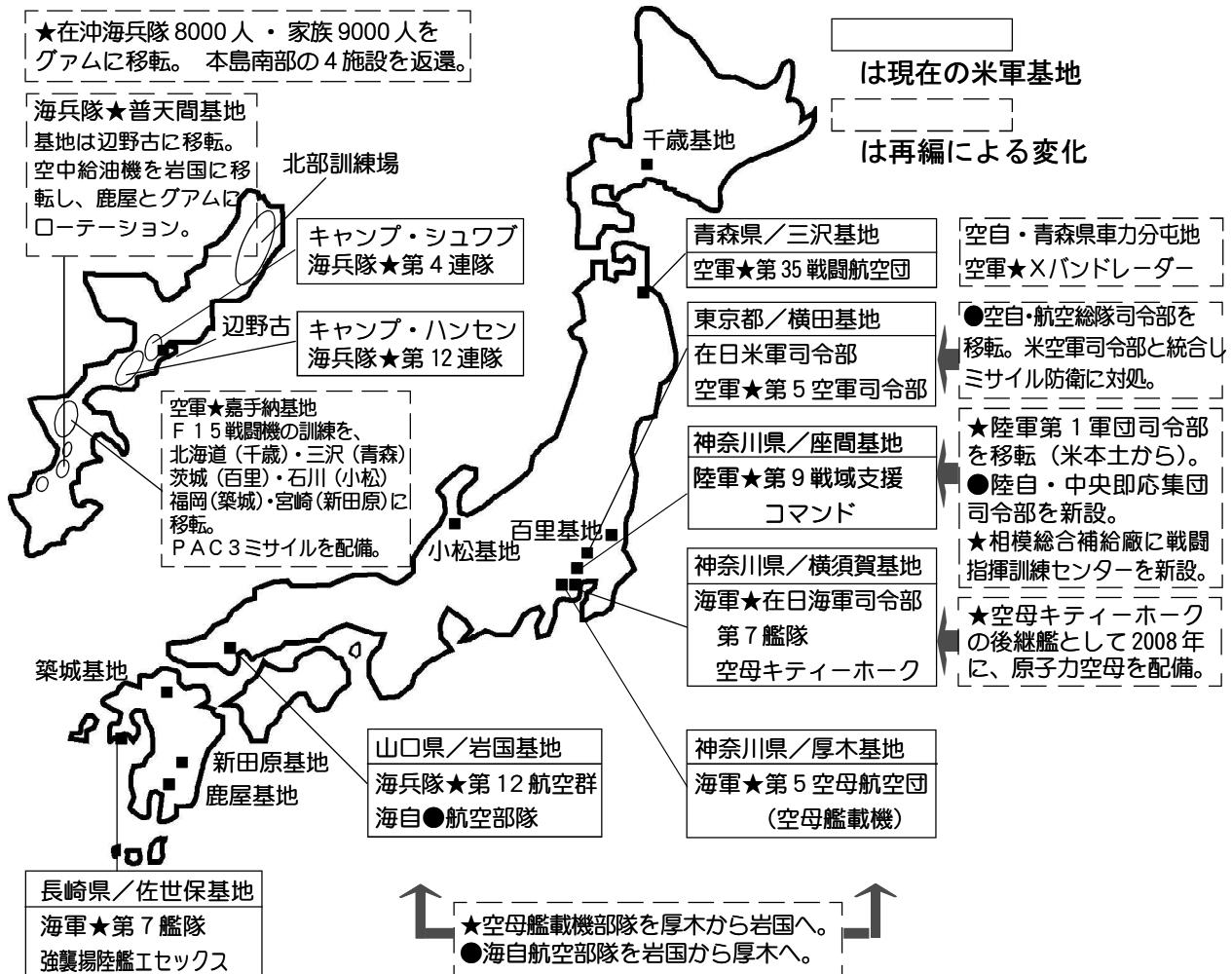
1日の間に嘉手納基地を離着陸する航空機の総数を考えれば、5機や10機程度が数日間移転しても、爆音被害は何も変わらないのです。

●築城基地から離陸する米空軍F 15 戦闘機→



これが在日米軍再編だ

現在の米軍基地と再編による変化



在日米軍再編関連経費 総額3兆円

■米軍再編特措法案に含まれる経費

●グアム移転費 7000億円

(内わけ)

基地建設・生活施設建設 3220億円(財政支出)

家族住宅建設 2930億円(融資)

基地内インフラの整備 850億円(融資)

●再編交付金 1000億円

■新規の法律を必要としない経費

●国内の基地建設・部隊移転費 不明

フォーラム平和・人権・環境

〒101-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館1階
電話 03-5289-8222 FAX 03-5289-8223

★平和フォーラムのHP www.peace-forum.com

★STOP!!米軍・安保・自衛隊のHP

www.peace-forum.com/mnforce/mnforce.html

米軍再編関連07年度予算 約72億円

●在沖海兵隊のグアム移転	3.0億円
●在沖基地の再編	12.0億円
●第1軍団司令部の座間移転	1.0億円
●厚木から岩国への艦載機移転	1.5億円
●嘉手納基地戦闘機訓練移転	3.7億円
●交付金	51.0億円

取扱い団体